

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：四国地方整備局 都市・住宅整備課
担当課長名：舟久保 敏

事業名	じょうさんじまなかしまだ 常三島中島田線		事業区分	街路	事業主体	徳島県
起終点	よしのほんちよう 自：徳島市吉野本町5丁目 至：徳島市なかしまだちよう なかしまだちよう 至：徳島市中島田町2丁目				延長	3.8 km
事業概要	本路線は、徳島市田宮、矢三地域における生活幹線道路であるばかりでなく、一般国道192号線の補完機能、及び平成9年度に完成供用された四国三郎橋から市内に流入する交通の分散機能を有するなど、徳島市中心市街地における極めて重要な路線であり、重点的に整備を進めているところである。平成14年2月末には矢三工区の約0.8 kmにおいて4車線化が完成し、これまで供用済みの区間とあわせ、(主)徳島引田線からJR高徳線までの約1.6 kmの区間において4車線での供用が可能となっているが、徳島市総合計画にも中心市街地の交通軸を形成する骨格的道路として位置づけられており、早期の完成が望まれているところである。					
昭和57年度事業化（平成13年度変更）	昭和48年度都市計画決定（平成9年度変更）	昭和57年度用地着手	昭和57年度工事着手			
全体事業費：346億円		事業進捗率：95%		供用済み延長：1.6 km		
計画交通量：25,000台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 6.7	総費用 (残事業)(事業全体) 23/458億円 (事業費：18.8/454.0億円 維持管理費：4.1/4.1億円)		総便益 (残事業)(事業全体) 155/773億円 (走行時間短縮便益：157.9/772.8億円 走行費用減少便益：-2.1/2.0億円 交通事故減少便益：-1.1/1.7億円)		基準年 平成15年
事業の効果等 1. 活力：道路容量の拡大、道路の広幅員化による円滑なモビリティの確保などを通じて徳島市中心市街地における活力向上に資する 2. 暮らし：大量の自転車交通(周辺の文教施設の自転車通学が主体)の通行に対する快適性、安全性の向上に資する 3. 安全：2次緊急輸送路としての信頼性を向上するとともに、災害時においてはバッファゾーンとして機能することで安全で安心な市民生活の形成に資する						
関係する地方公共団体等の意見 本道路は「徳島県道路整備プログラム」に位置づけられ、早期完成が望まれている						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 既に4車線化が完了した沿道地域においては、急速な沿道商業施設の立地進展が見られるなど、道路整備に伴う経済波及効果が現れている。また、周辺住民や道路利用者からも本路線の整備に対する多くの賛同意見と早期完成への要望を得ている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収残4%を早期に完了し、平成17年度の完成を目指す						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地買収促進に努めるとともに、買収済み区間より順次工事進捗を図り、平成17年度末の完成供用を目指し、放射環状道路網の整備等、事業効果の発揮を図るものである。						
施設の構造や工法の変更等 特になし						
対応方針 事業継続						
対応方針決定の理由 事業進捗率が高く完成目標年が間近であり、事業を継続して完成させることの効果が大きい。						
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次における値を割引率を用いて基準年における価値に換算し累計したものである